

令和元年 7 月 3 日  
港湾局 計画課

## 我が国港湾における 2018 年のコンテナ取扱貨物量(速報値)

～外貨は 2 年連続、内貨は 7 年連続で過去最高値を更新～

我が国港湾における 2018 年のコンテナ取扱貨物量は、国際コンテナ戦略港湾政策の推進や内航 RORO 航路の新規就航等を受け、外貨 1,890 万個(前年比+2.7%)、内貨 460 万個(前年比+4.3%)といずれも過去最高となり、合計では 2,349 万個(前年比+3.0%)と、2017 年の 2,280 万個を抜き、過去最高値を更新しました。

## 【概要】

- 我が国港湾における 2018 年のコンテナ取扱貨物量(外貨、内貨<sup>\*1</sup>の合計)は、2,349 万個<sup>\*2</sup>(前年比+3.0%)となり、2017 年の 2,280 万個を抜き、過去最高値を更新しました。
- また、外貨コンテナ取扱貨物量は、1,890 万個(前年比+2.7%)と全体的に堅調に推移し、内貨コンテナ取扱貨物量は、460 万個(前年比+4.3%)と昨年に引き続き、大きな伸びを示し、国際フィーダー取扱貨物量<sup>\*3</sup>についても堅調な伸びを示しました。
- これは、国際コンテナ戦略港湾への集貨や国際フィーダー航路網の拡大など、国際コンテナ戦略港湾政策の成果が現れてきているものと考えられます。また、内航フェリー・RORO 船の大型船の投入や航路再編の動きとともに、昨年 7 月の豪雨災害等を受け、内貨貨物が陸上輸送から海上輸送へシフトしたことなども影響していると考えられます。
- 取扱量上位港では内貨コンテナ取扱貨物量の増加により、清水港 9→8 位、川崎港 18→16 位 等の順位変動がありました。

## 【調査方法、集計内容】

- 全国の港湾管理者より提供いただいた 2018 年(1 月～12 月)のコンテナ取扱貨物量(速報値)を国土交通省で集計しました。貨物量は速報値であり今後変更する可能性があります。単位は個(20 フィート換算)です。
- 内訳として、外貨コンテナ取扱貨物量、内貨コンテナ取扱貨物量および国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を集計しました。内貨コンテナ取扱貨物量は、国内の 2 地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は、国際コンテナ戦略港湾などで外貨コンテナ船に積み替えられて輸出入されるコンテナ取扱貨物量であり、平成 25 年より集計、公表しているものです。

\* 1: 内貨コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量も含む。

\* 2: 長さ 20 フィートのコンテナ 1 本を 1 個としてカウント(長さ 40 フィートのコンテナ 1 本を 2 個としてカウント)。

TEU(Twenty-foot Equivalent Unit)とも言う。

\* 3: 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は港湾管理者に可能な限り調査・提供いただいた。全量を把握できていないため参考値とした。

## 【添付資料】

港湾別のコンテナ取扱貨物量(2018 年速報値)、コンテナ取扱貨物量上位 20 港ランキング  
(参考)港湾別国際フィーダーコンテナ取扱貨物量一覧、我が国のコンテナ取扱貨物量推移

## 【問い合わせ先】

港湾局 計画課 企画室 きかい きとう おおはま 坂井、佐藤、大濱

TEL: 03-5253-8111(内線:46825、46342、46343) / TEL 03-5253-8670(直通)

FAX: 03-5253-1650